

庁舎改築周辺整備事業 基本設計の策定 について

令和8年3月26日 定例記者会見



令和7年3月

庁舎改築周辺整備事業基本計画を策定

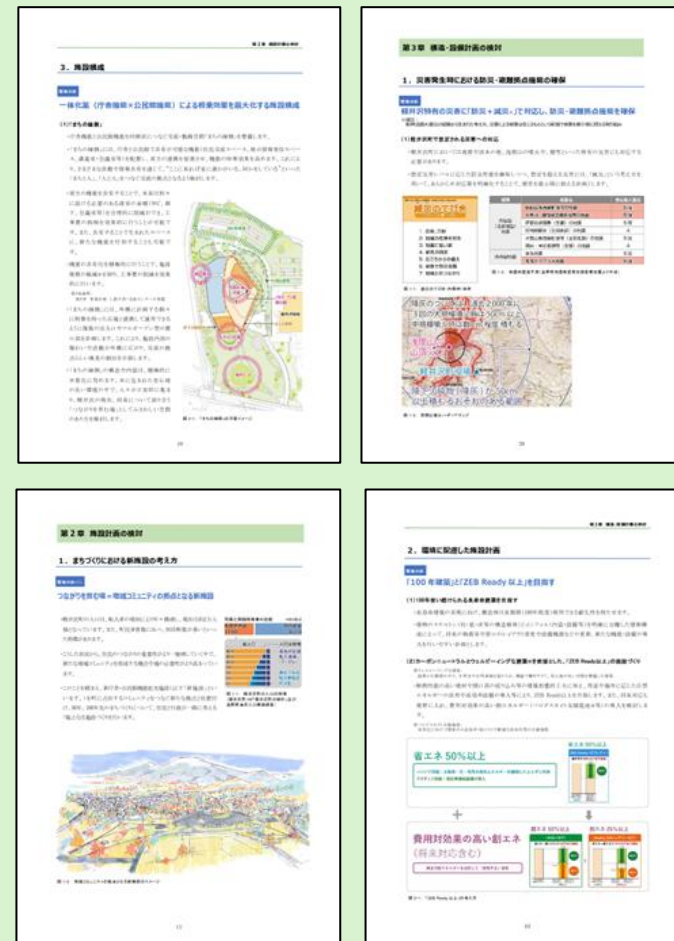
庁舎改築周辺整備事業基本計画

令和7年3月

軽井沢町

就任当初からの方針である「凍結・見直し」に基づき、前回の計画をいったん凍結して、

財源・内容・時期について 総合的に見直しました



見直し前（課題）	見直し後（改善点）
コスト意識	<ul style="list-style-type: none"> ・ 財源の確認（中長期財政計画の策定） ・ 利用スペースの見直し、事業スケジュール短縮等によるコスト抑制
情報公開	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議録の公開 ・ 広報かるいざわへ毎月新庁舎に関する情報を掲載 ・ SNSやホームページを活用した情報発信
合意形成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公募委員を含めた委員会の立ち上げ ・ これまでの手法に加え新たな手法による意見聴取の実施 対話の場（12回） 各区との意見交換会（2回 延べ40カ所） 住民説明会（3回 延べ8カ所） パブリックコメント（6回） 各種団体との意見交換会（4回） 無作為抽出意見交換会（1回） その他、職員説明会は随時実施

住民からの不安点

「将来、急激な人口減少によって税収が減り、後世に負担が残る」

「町の借金や貯金はどのくらいあるのかわからない」

「今の豊かな税収は別荘の固定資産税に頼っているので将来が心配」

≫ 不安を解消するため、客観的な数値に基づき検証

結論：財政は将来まで健全と想定

1. 税収

「増収を前提にしていない、慎重な推計です」

直近は増加傾向ですが、令和7年度以降は横ばいとする保守的な設計

2. 町債・基金

「計画的に借り、計画的に返す設計です」

返済計画は明確、財政調整基金は最終的に適正水準へ戻ります

3. 年間負担

「単年度の財政を圧迫する構造ではありません」

段階的な借入と返済により、急激な負担増は生じません

4. 実質赤字比率・実質連結赤字比率

「黒字です」

新庁舎改築周辺整備実施後も黒字を維持します

5. 実質公債費比率

「国基準と比較しても極めて低水準です」

令和6年度0.9%、ピークでも3.7%、基準25%を大きく下回ります

6. 将来負担比率

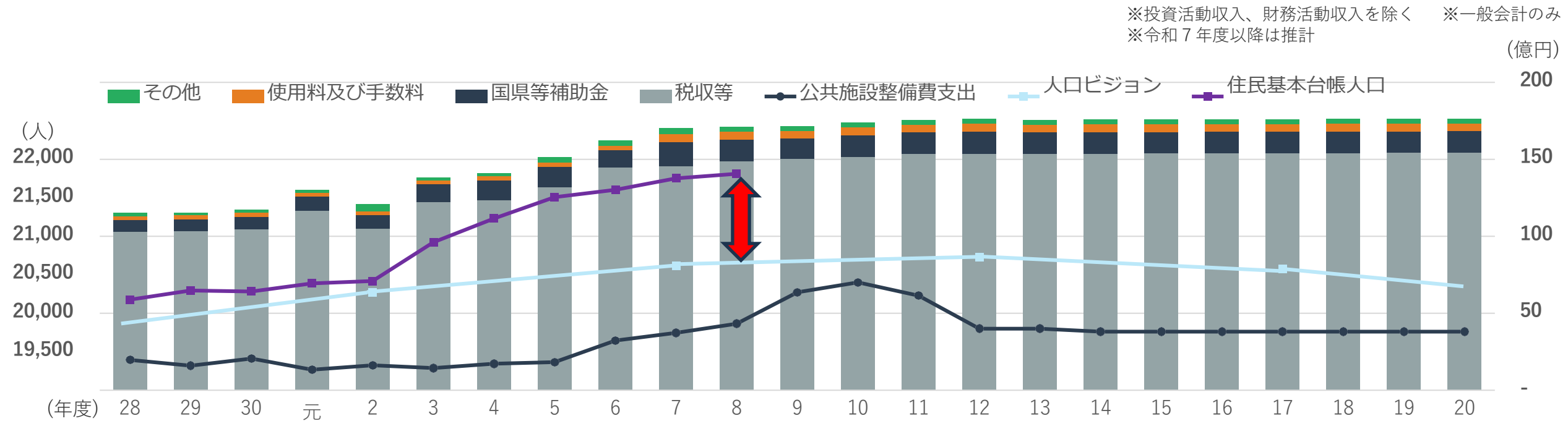
「将来世代への過度な負担は生じません」

ゼロで推移、新庁舎改築周辺整備実施後もゼロ見込み

税収等の推移

「増収を前提にしていない、慎重な推計です」

直近は増加傾向ですが、令和7年度以降は横ばいとする保守的な設計



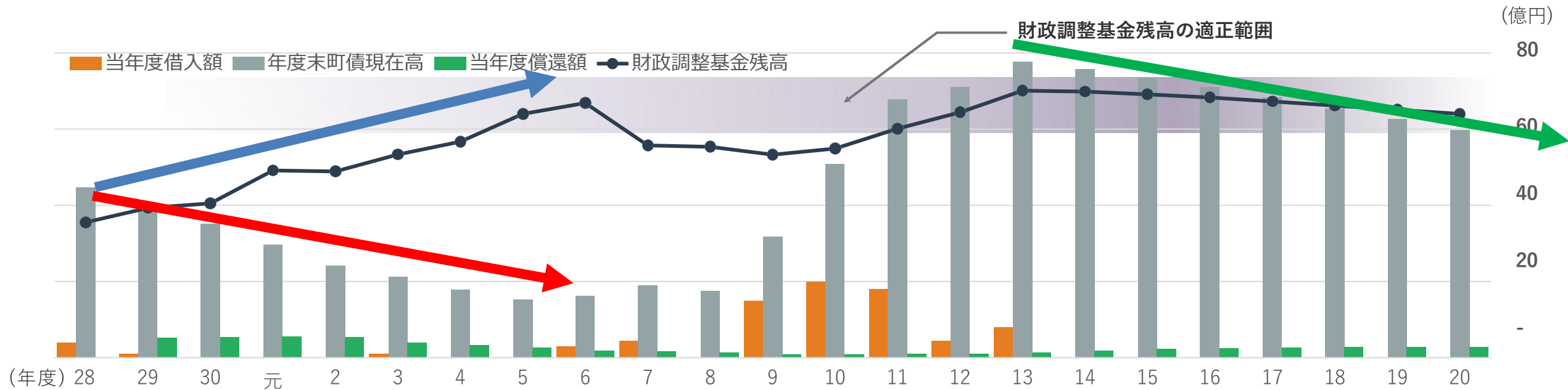
- ・ 人口が急激に減少する見立てはない
- ・ 税収と人口は完全な相関関係でない

町債の状況と財政調整基金残高の推移

「計画的に借り、計画的に返す設計です」

返済計画は明確、財政調整基金は最終的に適正水準へ戻ります

※令和7年度以降は推計 ※一般会計のみ

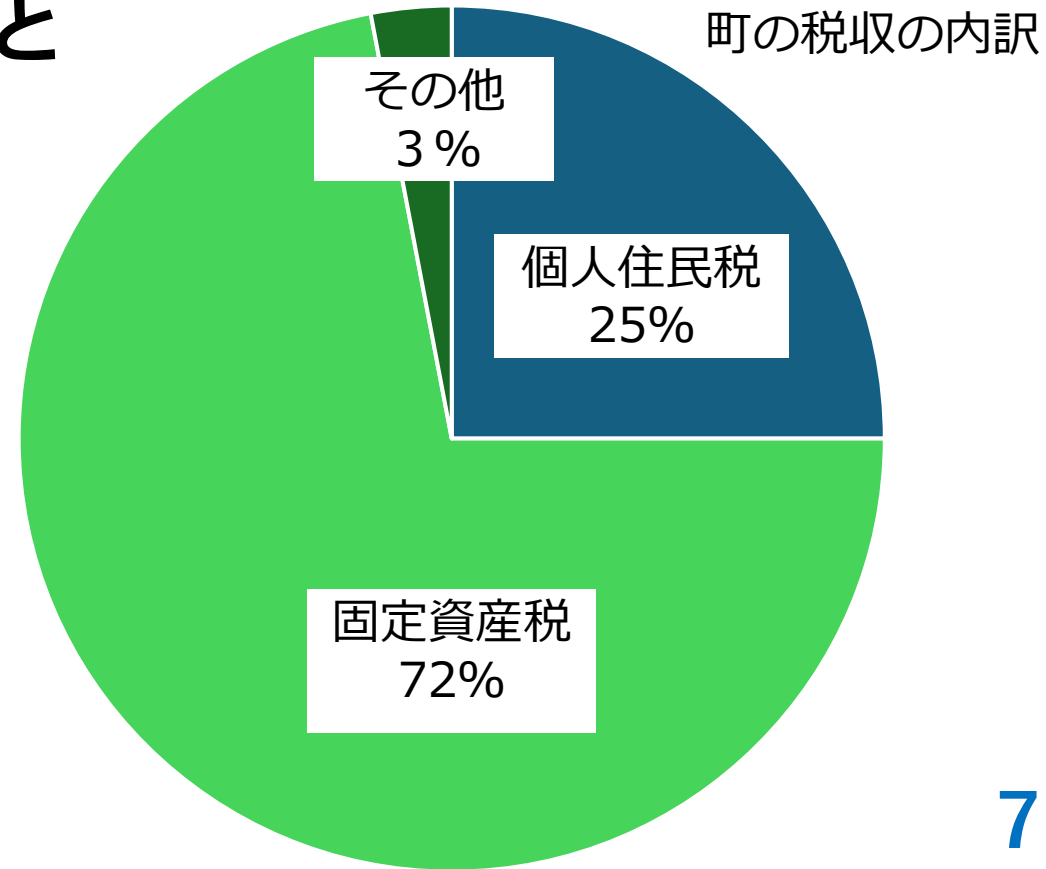


- これまで借金を減らし、貯金を増やしてきた
- 本事業における借り入れも計画的

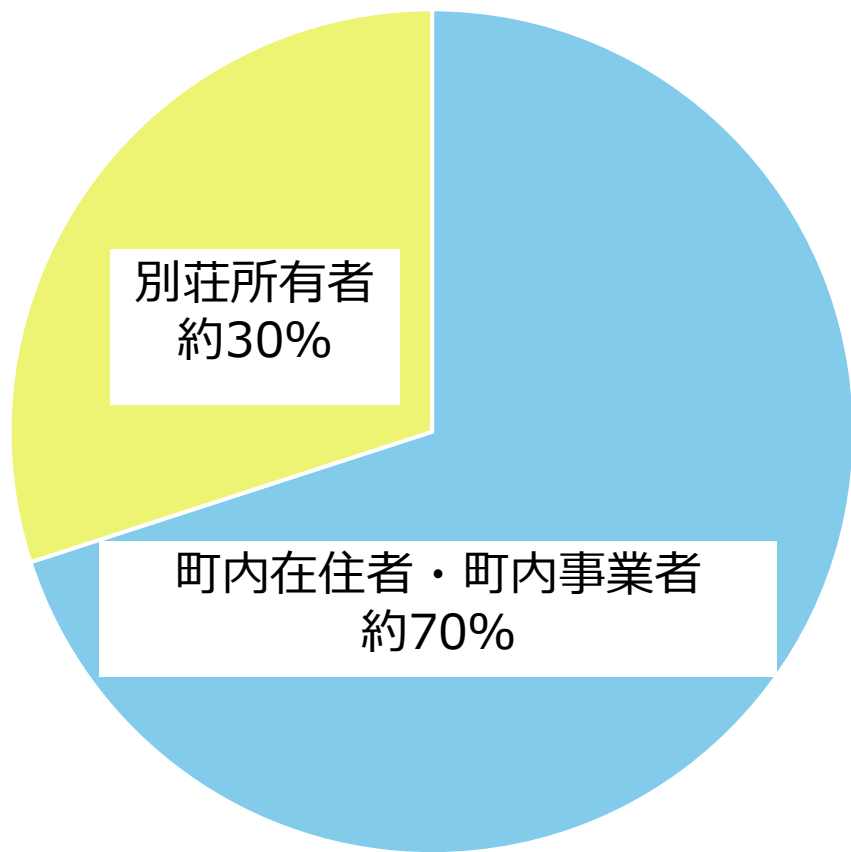
固定資産税 = 安定性が高い税金

➡人口減にも耐性が強い

➡重要なことは魅力的な町を維持すること



固定資産税が多い = 別荘からの税収が大半を占めているわけではない



町の税収のうち約70%が
町内在住者・町内事業者によるもの

財政規模ベース

(総務省HPより：R5決算カード比較)

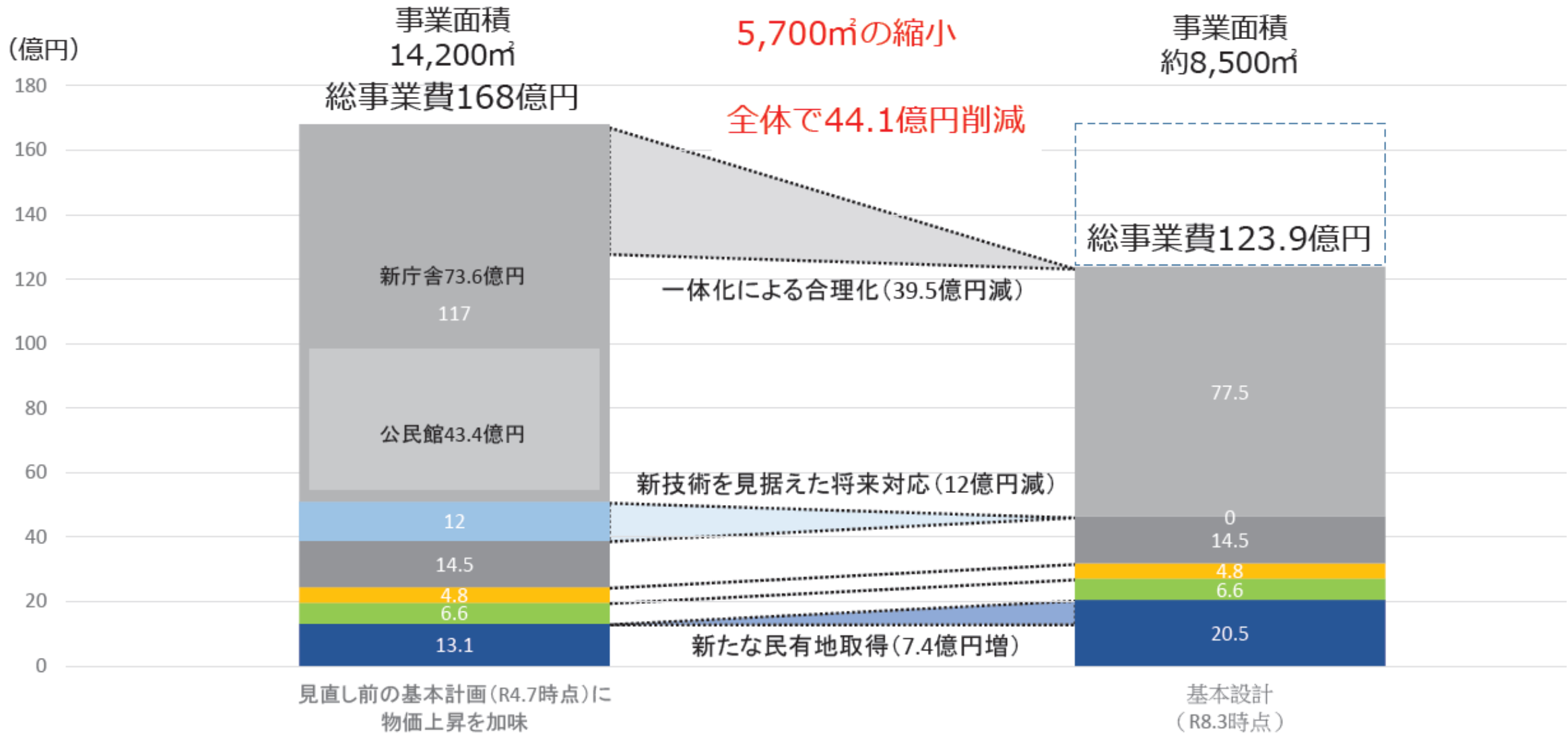
自治体名	人口	一般会計
御代田町	16,551	9,541,887千円
小諸市	41,521	20,870,000千円
安中市	54,643	32,620,000千円
軽井沢町	21,559	19,920,000千円

※令和8年度の当町の一般会計予算は 約209億円

事業費

(税込)

	基本計画 (R7.3)	基本計画に 物価上昇を加味	基本設計 (R8.3) (案)
建設費	72億円 (80万円×9,000㎡)	78.1億円 (86.8万円 (※1) ×9,000㎡)	77.5億円 (※3) (約8,500㎡)
外構工事費	16.5億円	17億円 (※2)	14.5億円 (※4)
太陽光発電設備工事費	—	—	—
解体費	3.2億円	3.7億円	4.8億円 (※5)
備品購入費・ システム移転費	6億円	6億円	6.6億円 (※6)
設計費・調査費・ 用地取得費等	22.3億円	22.3億円	20.5億円
合計	120億円	127.1億円	123.9億円 (※7)



■ 設計費・調査費・用地取得費等 ■ 備品購入費・システム移転費 ■ 解体費 ■ 外構工事費 ■ ZEB ■ 建設費

R7.9～ 各区意見交換会



広報かるいざわに毎月掲載

R8.3.7 新聞折込

軽井沢町 からの お知らせ **新施設（庁舎+公民館）の これまでとこれから** 3年後に 使用開始予定!

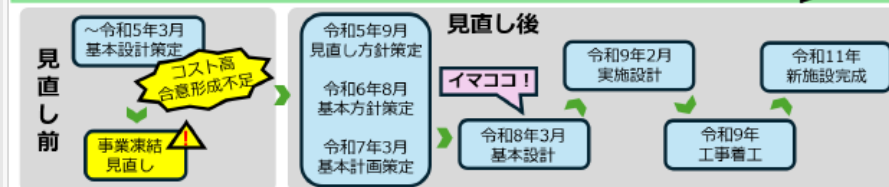
この事業は、令和5年3月に、コスト削減や情報公開の徹底などの課題から、事業の凍結を決定し、建物の機能や内容の再検討、財源の確認、時期などについて総合的に見直しを行ってまいりました。

約3年の見直し期間を終え、その成果がまとまりつつありますので、改めて事業の全体像を皆さんにお伝えさせていただきます。

① 建て替えが必要な理由

築50年経過による 老朽化	災害に対する 機能・設備不足
人・物・サービスの増加に伴う スペース不足	経年劣化に伴う 維持管理費の増加
ユニバーサルデザインへの転換	多様な利用ニーズへの 対応不足

② これまでの検討と今後のスケジュール



見直し前（課題）	見直し後（改善点）
コスト意識	<ul style="list-style-type: none"> ・財源の確認（中長期財政計画の策定） ・利用スペースの見直し、事業スケジュール短縮等によるコスト抑制
情報公開	<ul style="list-style-type: none"> ・会議録の公開 ・広報かるいざわへ毎月新庁舎に関する情報を掲載 ・SNSやホームページを活用した情報発信
合意形成	<ul style="list-style-type: none"> ・公募委員を含めた委員会の立ち上げ ・これまでの手法に加え新たな手法による意見聴取の実施 <p>対話の場（12回） 各区との意見交換会（2回 延べ40カ所） 住民説明会（3回 延べ8カ所） パブリックコメント（6回） 各種団体との意見交換会（4回） 無作為抽出意見交換会（1回） その他、職員説明会は随時実施</p>

情報発信の成果

- ・ 町の資料を読み込み、自分なりに事業をよく調べたうえで賛成している

より良くするために

- ・ 子どもたちにもわかりやすく、わくわくする情報を届ける
- ・ 興味のない人の目にも留まりやすい手法をとる



- 対話の場（12回）
- 各区との意見交換会（2回 延べ40カ所）
- 住民説明会（4回 延べ10カ所）
- パブリックコメント（7回）
- 各種団体との意見交換会（4回）
- 無作為抽出意見交換会（1回）

地域コミュニティの拠点であり、質実剛健で 品格ある"軽井沢らしい建物"



【来年度に向けて】

基本設計の策定に当たっては、正しいプロセスのもと概ねの合意を得られており、来年度の事業予算も認められているため、立ち止まることなく事業を進めていく

今後の課題

木の温かみを感じられるような施設となるよう、設計者と検討を進めていきます

